



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月11日

上場会社名 株式会社 大 和 上場取引所 東  
 コード番号 8247 URL http://www.daiwa-dp.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宮 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部財務部長 (氏名) 長嶋 和生 TEL (076)220-1100  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	26,891	15.1	△370	—	△239	—	△234	—
2021年2月期第3四半期	23,361	△26.9	△729	—	△513	—	△342	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 △273百万円 (—%) 2021年2月期第3四半期 △468百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△41.73	—
2021年2月期第3四半期	△61.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	27,962	2,902	10.4	517.24
2021年2月期	28,078	3,175	11.3	566.00

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 2,902百万円 2021年2月期 3,175百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	9.0	△600	—	△550	—	△600	—	△106.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	6,003,400株	2021年2月期	6,003,400株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	392,846株	2021年2月期	392,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	5,610,779株	2021年2月期3Q	5,611,231株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考) 個別業績の概要

・個別業績の概要は、法定開示におけるレビュー対象ではありません

(1) 2022年2月期第3四半期の個別業績 (2021年3月1日~2021年11月30日)

【個別経営成績】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	25,850	14.6	△122	—	△228	—	△161	—
2021年2月期第3四半期	22,548	△25.8	△306	—	△315	—	△320	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△28.78	—
2021年2月期第3四半期	△57.13	—

【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	23,176	1,233	5.3	219.87
2021年2月期	23,255	1,425	6.1	254.07

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 1,233百万円 2021年2月期 1,425百万円

(2) 2022年2月期の個別業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	8.7	△200	—	△350	—	△400	—	△71.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
3. (参考) 個別店別・商品別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(3月～11月)の百貨店業界は、長期化するコロナ禍の影響により依然として厳しい状況にあるものの、主要都市や地方都市に断続的に発出されていた「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が9月末で解除され、10月以降は次第に回復基調となりました。

この期間、主力の百貨店業におきましては、お客様と従業員の安全・安心を最優先とし感染拡大防止策を徹底すると同時に、新たな顧客層の拡大と地域に根ざした営業活動の推進に向け、引き続き新しい「商品と企画」の開発強化に取り組んできました。

香林坊店では、イエナカ需要の高まりに対応するべく、昨年の春以降、ライフスタイルショップ「ローラアシュレイ」や高級家具・インテリアの「匠 大塚」を導入するとともに、10月には「ルイ・ヴィトン」の改装により品揃えを拡充するなど、本物志向の顧客層拡大に繋がる売場改装を推進してきました。

また、婦人ファッションや食料品の期間限定ショップを随時展開しており、11月から開設しております和菓子の老舗「たねやシーズンショップ」は全国トップクラスの売上高で推移しております。併せて、9月には高岡市の鋳物メーカーが運営する「能作ショップ」を導入する等、地元有力取引先との取組み強化に努めてきました。

富山店におきましては、3月以降、婦人靴「銀座かねまつ」を始め、富山県ではオンリーワンの展開となるファッションショップを随時導入してきました。

また、6月の「DEAN&DELUCA期間限定ショップ」、8月の人気アニメ「ハイキュー展」に続き、11月には北欧雑貨「フライングタイガーコペンハーゲン期間限定ショップ」を展開する等、いずれも富山県では初開催となる話題企画催事を実施しました。

併せて、9月には、北陸の「食」や「工芸」の銘品・逸品を幅広く全国に紹介する新たなECサイト「北陸逸品.com」をスタートさせ、EC事業の拡大に努めてきました。

しかしながら、売上高につきましては、感染拡大が落ち着いてきた10月以降は次第に回復基調となりましたものの、9月まで新型コロナウイルス感染症の影響が響いたことから総じて厳しい推移となりました。

また、ホテル業におきましても、宿泊部門においては国内移動の制限が緩和された10月以降は次第に持ち直しの動きがみられましたが、宴会需要が引き続き大きく落ち込みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

・売上高	268億9千1百万円	(対前年同四半期増減率	15.1%)
・営業損失	3億7千万円	(対前年同四半期増減率	—)
・経常損失	2億3千9百万円	(対前年同四半期増減率	—)
・親会社株主に帰属する四半期純損失	2億3千4百万円	(対前年同四半期増減率	—)

となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、279億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円減少しました。

また、負債については、250億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千8百万円増加しました。

純資産については、29億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千3百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2021年9月29日に公表いたしました予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,482,501	2,148,994
受取手形及び売掛金	1,753,772	2,357,899
商品及び製品	1,433,778	1,554,011
仕掛品	15,036	32,300
原材料及び貯蔵品	38,751	41,638
その他	476,321	503,330
貸倒引当金	△21,477	△20,477
流動資産合計	6,178,684	6,617,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,313,982	23,473,778
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,743,090	△15,314,403
建物及び構築物(純額)	8,570,891	8,159,374
機械装置及び運搬具	778,027	777,044
減価償却累計額	△694,023	△701,953
機械装置及び運搬具(純額)	84,004	75,091
土地	8,265,239	8,265,239
その他	1,723,552	1,725,132
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,096,191	△1,163,388
その他(純額)	627,360	561,744
有形固定資産合計	17,547,495	17,061,449
無形固定資産		
施設利用権	1,572	1,572
ソフトウェア	26,076	60,511
無形固定資産合計	27,649	62,084
投資その他の資産		
投資有価証券	1,941,744	1,816,097
差入保証金	5,650,332	5,685,545
繰延税金資産	163,572	163,332
その他	123,584	101,069
貸倒引当金	△3,555,000	△3,545,000
投資その他の資産合計	4,324,234	4,221,045
固定資産合計	21,899,379	21,344,579
資産合計	28,078,063	27,962,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,614,007	2,849,984
短期借入金	4,161,201	4,560,905
未払法人税等	108,423	67,523
商品券	5,654,657	5,676,884
預り金	3,180,848	2,911,656
賞与引当金	57,000	69,299
ポイント引当金	168,716	156,577
商品券等回収損失引当金	528,325	558,783
その他	1,197,542	1,440,979
流動負債合計	17,670,723	18,292,592
固定負債		
長期借入金	4,205,864	3,947,470
繰延税金負債	583,901	570,310
再評価に係る繰延税金負債	353,427	353,427
退職給付に係る負債	1,399,957	1,430,989
資産除去債務	145,111	147,499
環境対策引当金	230,000	76,807
その他	313,257	241,169
固定負債合計	7,231,519	6,767,674
負債合計	24,902,242	25,060,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,462,700	3,462,700
資本剰余金	1,151,981	1,151,981
利益剰余金	△1,925,570	△2,159,687
自己株式	△594,801	△594,944
株主資本合計	2,094,309	1,860,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,000	142,693
土地再評価差額金	871,201	871,201
退職給付に係る調整累計額	37,309	28,065
その他の包括利益累計額合計	1,081,511	1,041,960
純資産合計	3,175,821	2,902,010
負債純資産合計	28,078,063	27,962,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	23,361,972	26,891,613
売上原価	18,361,404	21,145,728
売上総利益	5,000,567	5,745,885
販売費及び一般管理費	5,730,173	6,116,342
営業損失(△)	△729,605	△370,457
営業外収益		
受取利息	888	889
受取配当金	39,487	39,862
受取賃貸料	90,400	79,320
長期末回収商品券	278,157	280,635
助成金収入	170,141	107,268
店舗閉鎖損失引当金戻入額	33,399	—
持分法による投資利益	979	—
その他	14,459	56,329
営業外収益合計	627,913	564,304
営業外費用		
支払利息	98,642	87,115
減価償却費	80,638	78,276
商品券等回収損失引当金繰入額	192,481	224,309
持分法による投資損失	—	2,042
その他	40,229	41,635
営業外費用合計	411,992	433,379
経常損失(△)	△513,685	△239,532
特別利益		
環境対策引当金戻入額	—	65,874
貸倒引当金戻入額	10,000	10,000
補助金収入	150,260	—
その他	1,600	—
特別利益合計	161,860	75,874
特別損失		
固定資産除却損	9,381	2,845
特別損失合計	9,381	2,845
税金等調整前四半期純損失(△)	△361,206	△166,503
法人税、住民税及び事業税	42,464	67,856
法人税等調整額	△281	△243
法人税等合計	42,182	67,613
四半期純損失(△)	△403,389	△234,116
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,634	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△342,755	△234,116



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△403,389	△234,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,358	△30,306
退職給付に係る調整額	△20,415	△9,244
その他の包括利益合計	△64,773	△39,550
四半期包括利益	△468,163	△273,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△407,529	△273,667
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,634	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載しておりました「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」につきましては、百貨店業では概ね堅調な業績推移が今後も継続すると仮定し、またホテル業では2021年の上半期頃まで影響が残るものの、その後徐々に回復に向かうと仮定して見積りを行っておりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間において、2021年度の下半期につきましては、ワクチン接種普及率向上に伴い感染拡大が一定程度抑えられるとの期待感はあるものの、百貨店業・ホテル業ともに事業環境は引き続き厳しい状況が続き、2022年度の上半期頃には回復に向かうとの想定に変更して、固定資産の減損損失等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見通しには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる可能性があります。

3. (参考) 個別店別・商品別売上高

【店別売上高】

(単位：百万円, %)

店 別	前第3四半期累計期間 自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日		当第3四半期累計期間 自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日		対前年同四半期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
香 林 坊 店	12,371	54.9	14,277	55.2	1,905	15.4
富 山 店	10,176	45.1	11,573	44.8	1,396	13.7
合 計	22,548	100.0	25,850	100.0	3,302	14.6

【商品別売上高】

(単位：百万円, %)

商 品 別	前第3四半期累計期間 自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日		当第3四半期累計期間 自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日		対前年同四半期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
衣 料 品	6,260	27.8	6,580	25.5	319	5.1
身 回 品	3,205	14.2	4,056	15.7	851	26.6
雑 貨	4,077	18.1	4,738	18.3	661	16.2
家 庭 用 品	1,658	7.3	2,107	8.1	449	27.1
食 料 品	6,791	30.1	7,694	29.8	903	13.3
そ の 他	556	2.5	672	2.6	115	20.8
合 計	22,548	100.0	25,850	100.0	3,302	14.6